

大会中に起きたルールに関する事例と判断

No.	事 例	判断と考え方
1	受付締切時間に間に合わないので、替え玉受付をした	【判断】例:1年間の参加停止、試合中の選手は発覚した時点で失格。 【考え方】大会運営上のペナルティについてローカルルールを適用する。
2	片方の選手が現れないので、コートですっと待っていた。	【判断】すぐに入らなかった選手に嚴重注意 【考え方】コートに入るよう指示を受けて15分経っても来なかったら失格 【改正】先に入った選手から「相手が来ていない」とレフェリーに申し出があった時から15分計る。
3	トスで勝ったチームが「私達はコートを取るから、あなた達は何を取る？」⇒トスに負けたチームが「コートサイドはどちらを取りますか？」と尋ねたところ当日は風の強い日だったので「あなた達がサーブ・レシーブどっち取るか聞いてから決める」と言われたけど正しか？	【判断】正しくない 【考え方】トスで勝ったチームは「コートを取る」なら「エンド」を先に決めなくてはならない。
4	ダブルスでサーブを打つ人の順番を間違えたらどうする？	【判断】気づいた時点で正しい順番に戻す 【考え方】間違えたまま1ゲームが終わってしまったら、入れ替わったままの順番で行う
5	2サービスのモーションに入って打つ前にレットがかかった。打って無いから2ndから始めるか？	【判断】第1サービス 【考え方】モーションに入ってから打ってなくてもインプレーと判断でレット
6	レシーバーが構えていることを確認しないで、サーバーがセカンドサービスのモーションを始め、インパクト直前にレシーバーが「not ready」と言った場合には、第1サービスでやり直すか？	【判断】第2サービス 【考え方】「not ready」は、サーバーがレシーバーの準備ができたことを確認してサーブするという義務を怠ったため
7	サーブがアウトだったのでハンドシグナルで「フォールト」を伝えて普通に返球。サーバーはハンドシグナルに気付かず、返球されたボールがアウトだったので「アウト」とコールし得点した。レシーバーが「今のはフォールト」と言った。サーバーは「コールが遅すぎるからその判断は無効」だと言う。	【判断】フォールト 【考え方】セルフジャッジは、相手コートの判断に従わなければならない。但しはっきりとした大きな声とハンドシグナルを使って速やかに行うことができていなかった場合はポイント。 ・アウト(フォールト)ボールを返球し、返球したボールがアウトになるまでに「アウト」「フォールト」のコールをしなかった場合。 ・アウト(フォールト)ボールを返球し、相手はそのボールを打つまでに「アウト」「フォールト」のコールをしなかった場合。
8	ポイントが分からなくなった。どうするか？	【判断】合意できるスコアまでさかのぼり、合意できるポイントを足す 【考え方】両者の納得できるところまで戻る。ダブルスの場合、ペアの片方の意見だけでよい。 ⇒サーバーはレシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスし確認し合う。
9	レシーバーはどこに立ってもよいか？ダブルスのペアのポジションは？	【判断】どこでも良い。(ダブルスのペアも) 【考え方】ネットからレシーバー側なら、コートの内外のどこに立ってもよい。
10	タイブレークで最初のサーブをアドコートから始めてしまい、両チーム気付かず続行し終了した。	【判断】試合終了してしまったので結果はそのまま 【考え方】タイブレーク中、サービスのサイドが間違っていることに気づいた時は、偶数ポイント→直ちに正しい順番に、奇数ポイント→入れ替わったまま続行する
11	オムニコートでボールマークを確認する際、相手のコートに入って確認して良いか？	【判断】入ってはいけない 【考え方】クレーコート以外はボールマークのチェックを行うことは出来ない。クレーコートは入れる。